令和７年度

教 職 員 研 修 案 内

島 根 県 教 育 委 員 会

---------- 目次 ----------

令和７年度　各研修の注意事項

１　島根県教職員研修計画　－ 1 －

２　島根県教職員研修体系　－ 10 －

３　令和７年度に実施する研修　－ 11 －

４　令和７年度に実施する研修の概要

〈管理職等研修〉

1239　小・中学校等校長学校経営実践研修　－ 17 －
1240　小・中学校等教頭学校運営実践研修　－ 17 －
1118　管理職研修（新任校長）　－ 17 －
1119　管理職研修（２年目校長）　－ 18 －
1120　管理職研修（新任副校長・新任教頭）　－ 18 －
1121　管理職研修（２年目副校長・２年目教頭）　－ 18 －
1122　管理職研修（３年目副校長・３年目教頭）　－ 19 －
1123　主幹教諭研修（新任）　－ 19 －
1236　主幹教諭研修（２年目）　－ 19 －
1263　管理職研修（幼児教育施設）　－ 19 －

〈職務研修〉

1168　生徒指導主任・主事等研修（義務）　－ 20 －
1169　生徒指導主事研修（県立学校等）　－ 20 －
1170　学校安全（災害安全）研修　－ 21 －
1171　学校安全（生活安全）研修　－ 21 －
535　健康教育（学校保健）研修　－ 21 －
628　養護教諭研修　－ 21 －
843　栄養教諭研修　－ 22 －
1226　新任等学校栄養職員職務研修　－ 22 －
1227　新任等養護助教諭職務研修　－ 22 －
1327　教職経験６年目研修（養護教諭）スキルアップ研修　－ 22 －
1328　教職経験６年目研修（栄養教諭）スキルアップ研修　－ 22 －
478　小・中学校教務主任研修　－ 23 －
655　小・中学校研究主任等研修　－ 23 －
1223　県立学校道徳教育研修　－ 24 －
1129　新任講師等研修　－ 24 －
963　小・中学校事務職員新任事務リーダー研修　－ 24 －
971　小・中学校事務職員主事研修　－ 24 －
1095　小・中学校事務職員主任研修　－ 25 －
1162　小・中学校事務職員事務主幹研修　－ 25 －
1264　数理枠採用５年目研修及び６年目研修　－ 25 －
1265　新任臨時的任用等学校事務職員研修　－ 25 －
1297　新任学校図書館担当者研修　－ 25 －
1266　教育課程デザイン研修　－ 25 －
1267　ICT教育の基盤に係る管理研修　－ 26 －
1268　ICT活用推進リーダー教員研修　－ 26 －
1315　共通教科情報「情報Ⅰ」・「情報Ⅱ」研修　－ 26 －
858　小・中学校特別支援学級、通級による指導新任担当教員研修　－ 27 －
919　新任特別支援教育コーディネーター研修　－ 28 －
1329　新任人権教育担当主任等研修　－ 28 －
1270　学校・福祉連携推進教員研修　－ 29 －
1167　特別な支援のための非常勤講師（にこにこサポート事業）研修　－ 29 －
1182　特別支援教育専門性向上研修　－ 29 －
1255　通級による指導担当教員等研修　－ 30 －
1305　医療的ケア児担当者研修　－ 30 －
1305　医療的ケア児担当者研修　－ 30 －

〈テーマ研修〉

1131　講師等対象授業づくり研修　－ 31 －
1293　中学校数学理科教員リーダー育成研修　－ 31 －
1051　外国語指導助手の指導力等向上研修　－ 31 －
1241　中学校体育教員（領域）研修　－ 31 －
886　中・高種目別指導者研修会　－ 31 －
615　中・高等学校体育実技研修　－ 32 －
616　小学校体育実技研修　－ 32 －
1185　保育教諭・幼稚園教諭・保育士合同研修　－ 32 －
1202　幼児教育推進研修　－ 32 －
1144　日本語指導が必要な児童生徒教育研修　－ 32 －
1326　学びの根っこをぐんぐん伸ばすプロジェクト「学びの基盤に関する調査」研修　－ 33 －
1229　高等学校探究学習担当者研修　－ 33 －
1330　小・中学校特別支援教育コーディネーターアドバンス研修　－ 33 －
1176　複式学級新任担当者研修　－ 33 －
1186　ミドルリーダー育成研修　－ 34 －
1278　ゼロから学びたい先生のための教科教育研修（中学校免許外教科：音楽、美術、技術・家庭、保健体育　編）　－ 34 －
5002　若手教員授業力向上セミナー　－ 35 －
1277　ふるさと教育研修　－ 35 －

〈能力開発研修〉

113　小学校算数科教育講座　－ 36 －
528　小中学校国語科書写実技講座　－ 36 －
815　中・高等学校国語科教育講座　－ 36 －
816　中学校社会科、高等学校地理歴史科・公民科教育講座　－ 36 －
817　中・高等学校数学科教育講座　－ 36 －
819　中・高等学校家庭科教育講座　－ 36 －

---------- 目次 ----------

887 中・高等学校外国語教育講座 - 37 -
1035 小学校社会科教育講座 - 37 -
1136 小学校理科教育講座 - 37 -
1155 高等学校理科教育地学講座 - 37 -
1081 中学校道徳教育講座 - 37 -
1279 小学校理科教育（基礎・基本）講座 - 37 -
1282 中学校理科教育オンライン講座 - 38 -
1151 中学校理科教育講座 - 38 -
1231 小学校外国語教育講座 - 38 -
751 小・中学校「総合的な学習の時間」講座 - 38 -
1342 高等学校産業教育　授業デザイン講座 - 38 -
522 高等学校産業教育実技（農業）講座 - 38 -
255 小学校国語科教育講座 - 39 -
781 中・高等学校音楽科教育講座 - 39 -
1137 小学校音楽科教育講座 - 39 -
1300 小学校特別活動講座 - 39 -
1301 中学校特別活動講座 - 39 -
1302 キャリア教育の要！特別活動講座 - 39 -
639 小学校図画工作科教育講座 - 40 -
1256 中・高等学校美術教育講座 - 40 -
1152 高等学校理科教育物理講座 - 40 -
862 中学校技術教育講座 - 40 -
1283 高等学校英語ディベート指導のためのジャッジ養成研修 - 40 -
206 高等学校産業教育実技（商業）講座 - 41 -
1235 学校図書館を活用した授業改善講座 - 41 -
1206 就学前人権教育講座 - 41 -
1284 国立療養所長島愛生園訪問研修 - 41 -
1331 人権教育講座 - 41 -
1189 AI時代のプログラミング教育実践講座 - 41 -
1285 学びの可能性を広げる！遠隔・オンライン活用講座 - 42 -
1286 校務改善のための教育データ活用講座 - 42 -
1287 クラウドの強みを生かした授業デザイン講座 - 42 -
1288 子どもが主体のコンテンツ活用講座～NHK for school を中心に～ - 42 -
1289 AI時代の教育情報セキュリティ講座 - 42 -
1290 児童生徒が自ら考える力を高める！情報モラル教育実践講座 - 43 -
1291 授業で育み活かす！子どもの情報活用能力育成講座 - 43 -
1332 校内の情報化を進めたい教員のためのICT活用推進実践講座 - 43 -
921 不登校の理解と支援講座 - 43 -
1298 子ども理解と支援講座 - 43 -
1100 教職員のかかわる力を高める実践講座 - 43 -
1333 愛着（アタッチメント）形成に課題を抱える子どもの理解と支援講座 - 44 -
1334 発達障がいのある子どもの理解と特別支援学級の授業づくり講座 - 44 -
1335 通常の学級における多様な学びを支える基礎講座 - 44 -
1337 特別支援学校センター的機能担当者実践講座 - 44 -
1336 明日からの支援に生かす！特別支援学級・通級による指導担当のための実践講座 - 44 -
1338 学びが変わる！ 知的障がいのある子どもの理解と授業づくり講座 - 45 -
1339 「個別の教育支援計画」でつなげる支援・つながる支援講座 - 45 -
1303 いじめ・不登校を防ぐ！学級づくり講座 - 45 -
1222 よりよい関係づくり実践講座 - 45 -
1341 生徒指導の４つの視点から考える子どもの自己実現支援講座 - 45 -
1194 教育法規の基礎講座 - 46 -
1192 人材育成・コーチング講座 - 46 -

9019 図画工作科の授業と教材開発 - 47 -
9020 小学校社会科の授業デザインと教材開発 - 47 -
9021 今どきの思春期、今どきの保護者をどう理解するのか - 47 -
9022 総合的な学習・探究の時間の開発 - 47 -
9023 ファシリテーターとしての教師 ～理論と実践～ - 47 -
9024 教育評価の新たな地平 - 47 -
9025 生徒同士をつなぎ、自治的な力を育むことで、いじめの未然防止に取り組んだ中学校の実践に学ぶ - 48 -
9026 発達障がいと愛着障がいのちがい　～支援のためにできること～ - 48 -
9027 働き方改革を考える - 48 -
9030 いじめの早期発見・早期対応のために～小・中学校の事例を基に考える～ - 48 -
9031 教師の働き方改革～研究と現場との交流を通して考える～ - 48 -
9032 ICT活用の可能性 - 48 -
9033 学校の組織マネジメントと危機管理 - 49 -
9034 いじめ・不登校等が起こりにくい学級（学校）づくり～実践事例から考える学校（教職員）がすべきこと・できること～ - 49 -
9036 学校教育における「多文化共生」【現職教員研修と共同開講】 - 49 -
9037 教室空間におけるインクルージョン【現職教員研修と共同開講】 - 49 -
9038 小学校「外国語活動」「外国語科」の理論と実践（反復開講） - 49 -
9039 小学校「外国語活動」「外国語科」の理論と実践 - 49 -
9040 子ども理解とかかわり～特別支援教育の視点から～（反復開講） - 50 -
9041 子ども理解とかかわり～特別支援教育の視点から～ - 50 -

---------- 目次 ----------

9043 基礎からじっくり楽曲分析演習～教材研究の深化を目指して～ － 50 －

9045 英語学習における学びの多様性と、授業での工夫を考える（理論編） － 50 －

9046 Q-U調査を活用した児童生徒理解、学級集団理解に基づく教育実践のあり方 － 50 －

9047 「宇宙」を素材としたインクルーシブな探究活動 － 50 －

9048 共生を実現する学校について考える～多様性の尊重と凝集性（まとまり）の両立を目指して～ － 51 －

9049 中学校技術・家庭科技術分野の問題解決のアップデート － 51 －

9050 地理を専門としない教員のための地理分野教材開発 － 51 －

9051 アセスメントの重要性と多機関連携の在り方 － 51 －

9052 予防・開発的生徒指導　聴くことからはじめる人間関係づくり － 51 －

9053 ＵＤＬに基づく小学校算数科の指導 － 51 －

9055 支援につなげるための不登校理解～早期支援に焦点をあてて～ － 52 －

9056 英語授業における様々な学び方と支援の在り方 － 52 －

9057 自立活動と個別の指導計画の基礎・基本 － 52 －

9058 子どもの主体的な学びを実現する道徳科の授業づくり（小学校向け） － 52 －

9059 国語科における文学的文章の「読みの交流」について考える － 52 －

9060 教師の多様性を活かすための学校の変革とリーダーの役割【現職教員研修と共同開講】 － 52 －

9061 「教育×テクノロジー」で培う「自ら学ぶ力」～自己調整学習を促進するために～【現職教員研修と共同開講】 － 53 －

9062 障がいのあるお子さんを養育されている保護者の「語り」からの学び（反復開講） － 53 －

9063 障がいのあるお子さんを養育されている保護者の「語り」からの学び － 53 －

9064 これからの幼児教育に必要なことがら － 53 －

9511 ［楽しい授業づくり］音楽科研修会Ⅲ（小学校） － 54 －

9512 ［楽しい授業づくり］音楽科研修会Ⅲ（中学校） － 54 －

9513 図工・美術授業力向上研修会 － 54 －

9514 外国語教育における小・中・高等学校の接続を重視した授業力向上研修会 － 54 －

9508 小学校外国語専科指導教員による魅力ある授業づくり研修会 － 54 －

9515 高等学校数学科・数学的活動の充実を目指す授業づくり研修会 － 54 －

9516 ＴＥＣＨ　Ｃａｆｅ～中学校技術・家庭科(技術分野)授業力向上研修会～ － 55 －

9517 小学校家庭科授業力向上研修会 － 60 －

9518 中学校技術・家庭科(家庭分野)授業力向上研修会 － 60 －

9506 高等学校情報科　進学指導を意識した授業づくり － 55 －

9510 みんなで考える　生徒指導・教育相談 － 55 －

9519 教育相談カウンセリング研修会 － 55 －

9500 管理職・学校の危機管理研修会 － 56 －

8001 【幼児教育　園経営研修】学校評価・園評価を教育の質向上につなげるために － 57 －

8002 【小学校国語】学力向上研修～全国学力・学習状況調査を活用した授業づくり～ － 57 －

8003 【中学校国語】学力向上研修～全国学力・学習状況調査及び鳥取県の高校入試の問題から授業改善の方向性を紐解く～ － 57 －

8004 【中学校国語（授業づくり・定期考査）】めざす資質・能力を育む国語科の授業づくり － 57 －

8005 【高等学校国語】こう変わる！学習指導要領を踏まえた国語科の授業 － 57 －

8006 【小学校算数】学力向上研修～全国学力・学習状況調査を活用した授業づくり～ － 57 －

8007 【中学校数学】学力向上研修～全国学力・学習状況調査及び鳥取県の高校入試の問題から授業改善の方向性を紐解く～ － 58 －

8008 【中学校数学（授業づくり・定期考査）】めざす資質・能力を育む数学科の授業づくり － 58 －

8009 【高等学校数学】数学科における探究的な学び － 58 －

8010 【小学校理科】子どもに理科の楽しさを伝える授業づくり － 58 －

8011 【小学校生活】児童理解をもとに考える信頼性を高める学習評価 － 58 －

8012 【中・高等学校音楽】音楽の聴き方を深化させる鑑賞の指導と評価 － 58 －

8013 【小学校図画工作】美術館で子どもたちの学びのたねを見つけよう！ － 59 －

8014 【小・中・高・特別支援学校体育】水泳が苦手な児童生徒への効果的な指導方法 － 59 －

8015 【小・中学校家庭】子どもが主役の授業へ！問題解決的な学習の質向上をめざして － 59 －

8016 【高等学校情報Ⅰ・情報Ⅱ】主体的・対話的で深い学びを実現する「情報」の授業づくり － 59 －

8017 【小学校外国語活動・外国語】これからの小学校外国語教育 － 59 －

8018 【中学校英語（授業づくり・定期考査）】めざす資質・能力を育む英語科の授業づくり － 59 －

8019 【高等学校農業】農業で鳥取の未来を拓く！ － 60 －

8020 【小・中学校道徳①】「深い学び」を実現する道徳科の授業づくり － 60 －

8021 【小・中学校道徳②】学校における道徳教育と道徳科の授業づくり － 60 －

---------- 目次 ----------

8022 【特別活動・学級経営・ホームルーム経営】児童生徒の自律的な行動や自治的な活動につながる学級・ホームルーム経営の必要性 - 60 -

8023 【全教科／マネジメント】令和7年度とっとり学力・学習状況調査を活用した学校マネジメント研修会 - 60 -

8024 【全教科／対話による深い学び】体感！アートとの出合い、アーティストとの出会いから広がる世界 - 60 -

8025 【先輩に学ぶ（リスキリング）】教師としての生き方に学ぶ - 61 -

8026 【探究的な学び】探究的な学びの実現に向けた協働・共創プロジェクト① - 61 -

8027 【探究的な学び】探究的な学びの実現に向けた協働・共創プロジェクト② - 61 -

8028 【探究的な学び】探究的な学びの実現に向けた協働・共創プロジェクト③ - 61 -

8029 【探究的な学び】探究的な学びの実現に向けた協働・共創プロジェクト④ - 61 -

8030 【PBLによる探究的な学び】鳥取県版PBLによる探究的な学びの進め方（実践編） - 61 -

8031 【Google Workspaceスキル（基礎編）】今からでも遅くない！「基本のき」から始めるGoogle Wokspace for Edcuation - 62 -

8032 【Google Workspaceスキル（応用編）】Google Workspaceを結びつけた授業や校務の実践に向けて - 62 -

8033 【Google Workspaceスキル（発展編）】Google Workspaceを活用した実践的授業づくり - 62 -

8034 【学習者主体のこれからの学び①】学習者主体の学びをデザインする - 62 -

8035 【学習者主体のこれからの学び②】情報活用能力を育む授業づくり - 62 -

8036 【Google Workspaceを活用した校務改善】Google Workspaceで加速する校務の効率化 - 62 -

8037 【善きICTの使い手となる～デジタルシティズンシップ～】AI時代の児童生徒の善き使い手となるメディア教育を考える - 63 -

8038 【生成AIとリテラシー】生成AIを適切に活用するには - 63 -

8039 【特別支援教育①（自立活動）】個に応じた自立活動の指導の実際 - 63 -

8040 【特別支援教育②（発達障がい）】もっと知りたい発達障がい - 63 -

8041 【特別支援教育③（学習障がい）】子どもの学習を支えるワーキングメモリ - 63 -

8042 【特別支援学校教育】見方・考え方を働かせ、各教科の資質・能力の育成を目指した特別支援教育の授業づくり - 63 -

8043 【教育相談】発達や愛着の問題を抱えた子どもたちへの理解と支援 - 64 -

8044 【生徒指導】子どもとともに歩む生徒指導 - 64 -

8045 【人間関係づくり】「かかわりの力」を育む - 64 -

8046 【人権教育①】参加体験型による人権教育 - 64 -

8047 【人権教育②】部落差別の解消をめざして - 64 -

8048 【人権教育③】人権が尊重される社会のために - 64 -

8049 【人権教育④】ユニバーサルデザイン（UD）に関する授業・学校づくり - 65 -

8050 【ふるさとキャリア教育】 - 65 -

8051 【図書館教育】読解力向上につながる図書館教育 - 65 -

8052 【生命の安全教育】「生命（いのち）の安全教育」の必要性について - 65 -

8053 【防災教育】「生きる力」を磨く！未来へつなげよう私たちの防災 - 65 -

8054 【博物館連携講座】教員のための博物館の日 ２０２５in 鳥取県立博物館 - 65 -

8055 【国際教育】ESD、SDGｓの視点から「誰ひとり取り残さない社会」を考える - 66 -

8056 【消費者教育】デジタル社会に対応した消費者教育 - 66 -

8057 【環境教育】謎を解き明かして気候変動について学ぼう - 66 -

8058 【あいサポート】多様なコミュニケーション方法の活用を通じた「きこえない・きこえにくいこと」への理解 - 66 -

〈教職経験年数に応じた研修〉

415 初任者研修

605 新規採用養護教諭研修

940 新規採用栄養教諭研修

1013 新規採用幼稚園教諭研修

988 新規採用小・中学校事務職員研修

942 新規採用県立学校実習教員研修

1085 フォローアップ研修（教諭・２年目）

1111 フォローアップ研修（教諭・３年目）

1086 フォローアップ研修（養護教諭・２年目）

1112 フォローアップ研修（養護教諭・３年目）

1087 フォローアップ研修（栄養教諭・２年目）

720 教職経験６年目研修（教諭）

722 教職経験６年目研修（養護教諭）

1016 教職経験６年目研修（栄養教諭）

989 教職経験６年目研修（実習教員）

1166 教職経験６年目研修（寄宿舎指導員）

1195 中堅教諭等資質向上研修（教諭）

1196 中堅教諭等資質向上研修（養護教諭）

1197 中堅教諭等資質向上研修（栄養教諭）

1198 中堅教諭等資質向上研修（幼稚園教諭）

1199 専門性向上研修（実習教員）

研修番号順のページ一覧が裏表紙にあります。

令和７年度 各研修の注意事項

○「教員」、「教職員」の表記について

「教員」、「教職員」の表記については、次のように定義する。

「教　員」＝校長（園長）・教頭・副校長・主幹教諭・教諭・助教諭・
養護教諭・養護助教諭・栄養教諭・講師（常勤に限る）・
実習教員（実習主任・実習助手）・主任寄宿舎指導員・
寄宿舎指導員
「教職員」＝「教　員」＋学校栄養職員・学校事務職員・学校司書

○研修会場について

複数の会場がある研修については、下記の表により該当する会場で受講すること。

東部会場									西部会場							
松江管内		出雲管内				隠岐管内			浜田管内					益田管内		
松江	安来	出雲	雲南	仁多	飯石	島前			島後	浜田	大田	江津	邑智			益田	鹿足	
松江市	安来市	出雲市	雲南市	奥出雲町	飯南町	海士町	西ノ島町	知夫村	隠岐の島町	浜田市	大田市	江津市	川本町	美郷町	邑南町	益田市	津和野町	吉賀町

○各研修の「概要」、「実施要項」について

概　　要　島根県教育センターのホームページに掲載する。

実施要項　島根県教育センター研修情報システム（実施要項では「研修情報システム」という）を通じて、実施の約３週間前に送付するので、各自でダウンロードすること。

○受講に際して配慮が必要な場合について

手話通訳者の依頼や研修時の誘導等、受講に際して配慮が必要な場合は、出来るだけ早く、各研修の担当者に連絡してください。（相談しながら個別に対応します。遠慮なくご連絡ください。）

○研修の欠席等について

研修を欠席する場合には、事前に管理職から担当課に対して電話連絡をした後、すみやかに研修情報システムを通じて申請を行うこと。

○研修の変更について（管理職等・職務・テーマ研修）

管理職等・職務・テーマ研修について、やむを得ない事情で、各校長及び園長が受講者を変更したり、受講期日または受講会場を変更したりする場合は、事前に管理職から担当課に対して電話連絡をした後、すみやかに研修情報システムを通じて手続きを行うこと。

○研修の修了について

研修修了の認定については、全日程を修了した者とする。ただし、特別な事情があった場合は、研修日程の概ね３分の２以上を出席した者とする。

１　島根県教職員研修計画

（１） 島根県の教職員として求められる基本的な資質能力

教職員として求められる基本的な資質能力は、普遍的でいつの時代にも求められるものと、時代の変化に対応してその時代時代に求められるものとがある。社会の変化や時代のニーズに応える学校教育の実現には、教職員の職務に応じた資質能力の向上が不可欠である。職務に関わる専門的知識・技能の他、様々な課題に対応するための実践的指導力の向上を図るためには、常に探究心を持ち自主的に学び続ける力が求められている。また、学校組織の一員としてのコミュニケーション能力、他者と連携・協働する力も大切である。

そこで、島根県の教職員として求められる基本的な資質能力を次のように定める。

島根県の教職員として求められる基本的な資質能力

- ○ 豊かな人間性と職務に対する使命感
- ○ 子どもの発達の支援に対する理解と対応
- ○ 職務にかかわる専門的知識・技能及び態度
- ○ 学校組織の一員として考え行動する意欲・能力
- ○ よりよい社会をつくるための意欲・能力

（２）キャリアステージに応じて求める姿と育成する資質能力

①　教育職員（教諭等）

「島根県公立学校教育職員人材育成基本方針」（H５．４改定）においては、５つのキャリアステージを設けて、採用前段階から系統的かつ一貫性のある人材育成ができるようにしている。これまであった「探究・発展期」及び「充実・円熟期」については、対象年数の区切りを変更するとともに、「充実・円熟期」については、きめ細かなキャリア形成を推進するために、前期と後期に区分した。また、令和６年４月改定においては、養護教諭・栄養教諭の専門性に基づく育成指標を示すことにした。

【採用までに身に付けておいて欲しいこと】

新規採用された段階。教職課程認定を受けた大学等、養成段階での学修等を通して、教育職員として勤めるための素養や基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けていることが必要である。

【自立・向上期（１～５年目）】

新規採用時からおよそ５年目までの５年間の期間にあたり、教育職員として授業や学級経営等の実践的指導力を身に付けて自立し、向上心を持って成長していく基盤を固める期とする。

【探究・発展期（６～15 年目）】

およそ６年目から 15 年目までの 10 年間の期間にあたり、教育職員として意欲的に教育活動を実践し、得意分野を開発・探究していくなどにより専門的な知識及び技能の充実を図る期とする。

【充実・円熟期[前期]（16 年目～概ね 25 年目）】

経験 16 年目以降から概ね 25 年目の期間にあたる。教育職員として様々な教育実践を重ねることで教科等の専門的知識及び技能を高めるとともに、主任やミドルリーダーとしての自覚や責任を持って教育活動を円滑に進める資質能力を高めていく期とする。

【充実・円熟期[後期]（概ね 26 年目以降）】

概ね経験 26 年目以降の期間であり、経験豊富で知見があるベテラン層の年代にあたる。教育職員として教科等の専門的知識及び技能をさらに高めていきながら、学校運営にも積極的に参画し、後進にも適切な助言を与えるなど人材育成を図っていく期とする。

また、この他に教育職員には「管理職」の職があり、それぞれに応じた研修を実施する。

なお、「自立・向上期」の１年目には、教育公務員特例法第 23 条に定められた初任者研修を他の職種とともに新任教職員研修として実施する。また、「探究・発展期」にあたる６年目に教職経験６年目研修を、11～13 年目に教育公務員特例法第 24 条に定められた中堅教諭等資質向上研修を実施する他、実習教員・寄宿舎指導員については、11 年目に専門性向上研修を実施する。

② 学校事務職員

「島根県公立小・中・義務教育学校事務職員人材育成基本方針」（Ｒ６．２改定）においては、５つのキャリアステージに応じた資質能力を明確にし、系統的な人材育成が図られるようにしている。後半（事務リーダー）のキャリアステージでは、学校運営への参画に加え、事務グループをまとめ、後進を指導する学校事務職員のリーダーとしての役割も求めたものとしている。

【主 事】

学校事務職員の職責を理解し、自主的・意欲的に学校事務に関する知識・技能を習得することで、正確に遺漏なく定型業務を進めることができる実務処理能力

【主任主事】

所属校の現状と諸課題を把握し、児童生徒の教育に関わる他者と連携・協働を図りながら、改善に向けた手立てと実践に取り組むことができる課題発見解決力

【主 任】

所属校や事務グループのミドルリーダーとして、若年層への支援・助言を中心となって行うことができるフォロワーシップ

【事務主幹】

総務・財務の高度な知識・経験を活用し、学校運営の中核的役割を果たすことができるマネジメント力

【事務リーダー】

学校事務のエキスパートとして、広域かつ中長期的な視点から学校の業務改善・学校事務職員の人材育成を推進することができる統括監督能力

管理職等の育成指標

管理職等の育成指標

資質能力＼職		主幹教諭	副校長・教　頭	校　長
1 高い教育理念と広い識見	①人間理解・人権意識	・子どもの実態やその背景の理解に努めるとともに、管理職等としての高い人権意識と特別支援教育への深い理解をもとに、一人一人の人権が大切にされる教育現場の実現に取り組むことができる。　＊1		
	②職務に対する誇りと責任	・管理職等として必要な確固たる倫理観を持つとともに、教育に対する県民の期待を理解し、組織の責任者としてその職責や義務を自覚して職務に取り組むことができる。 ・関係法の理念を十分理解し、教育職員等による児童生徒性暴力等を断固として許さず、子どもの尊厳を保持し、安全・安心な学校環境を整えることができる。		
	③学び続ける意欲	・国や県、市町村の教育施策等を理解するとともに、常に教育に関わる情報、社会情勢、地域の実態等に関心を持ち、積極的かつ謙虚な姿勢で研究と修養に努めることができる。		
2 学校経営	④学校経営ビジョン	・校長が示す学校経営ビジョンの実現を目指し、副校長・教頭を補佐しながら、創意工夫を活かして実践することができる。	・校長が示す学校経営ビジョンを分かりやすく教職員に伝え、教職員の共通理解のもと、組織をまとめ動かすことができる。	・長期的な視点に立ち、「魅力ある学校づくり」を目指した具体的な学校経営ビジョンを立てることができる。
	⑤リーダーシップ	・学校経営ビジョンの実現に向けて、教科・分掌の垣根を越えて、管理職とともに自らがリーダーとして教育活動を推進することで、組織を活性化させることができる。 ・**[高等学校]**＊2 グランドデザインにもとづく魅力化のPDCAサイクルをコンソーシアム等の協働体制を活かして構築するプロセスを学び合うことで知見を共有し、取組を推進することができる。	・学校経営ビジョンの実現に向けて、教職員の能力、個性が発揮されるよう、組織の主任等に適切に指示を出し、組織を活性化させることができる。 ・生活実態や学習等の状況を的確に把握・分析するとともに、関係者等の意見を集約し、解決策の実現に向けて校長を補佐することができる。	・学校経営ビジョンや課題に応じて、校内組織の再編成や適正な人事配置を行い、組織を活性化させることができる。 ・生活実態や学習等の状況を的確に把握・分析し、実態を踏まえたカリキュラム・マネジメントを推進しながら解決策の実現に向けて体制づくりをすることができる。
3 学校管理・運営	⑥服務規律の確保・危機管理	―	・校長の指導助言のもと、教職員の服務規律を確保することができる。 ・服務規律に関する校内研修の実施にあたっては、関係法令や最近の事例などの新しい知見を取り入れながら、説得力のある内容を提供することができる。 ・学校事故への対応を予め想定し、備えるとともに、緊急時には組織的に対処することができるよう校長を補佐することができる。	・関係法令や最近の事例などを踏まえながら、教職員の服務規律を確保することができる。 ・日頃から教職員一人一人との対話を重んじながら個々の状況を把握し、適切な指導助言を行うことができる。 ・学校事故への対応を予め想定し、備えるとともに、緊急時には学校の責任者として組織的に対処することができるよう、すみやかに適切な判断を下すことができる。
	⑦事務管理	―	・教育活動の実施を適切に管理するとともに、予算執行、施設設備維持について、事務職員と連携して適切に処理することができる。	・教育活動の実施、予算執行、施設設備維持について、適切に管理することができる。
4 人材育成	⑧指導育成	・学校課題や教員のニーズに応じた校内研修を積極的に推進してOJTの気運を高めながら人材育成に努めることができる。 ・人材育成の重要性を理解し、教職員に対してキャリアステージに応じた指導助言をすることができる。	・校長が示す育成方針のもと、必要な研修の機会を与えたり、校内での研修を効果的に進めたりすることができる。 ・中堅研等の場を利用しながら、校内で指導的な役割を任せるなどミドルリーダーとしての資質を育成する環境を整えることができる。	・育成指標のキャリアステージに基づいて教職員一人一人の育成方針を策定しつつ、対話をしながら適切な研修の受講を奨め、指導育成を行うことができる。 ・教職員個々の適性を見きわめながら、将来の管理職として相応しい人材を育成することができる。
	⑨適正な評価	―	・教職員一人一人を総合評価制度等の観点を踏まえて評価し、面接や他の機会を捉えて課題を具体的に認識させることができる。	・教職員一人一人を総合評価制度等の観点を踏まえて評価し、面接や他の機会を捉えて課題を認識させ、目指す方向を的確に示すことができる。
5 外部との連携・折衝	⑩保護者・地域・異校種との連携・協働	・保護者や地域社会と積極的に交わり、その思いや願いを的確に把握し、管理職と共有しながら、「開かれた学校づくり」を推進することができる。 ・**[高等学校]**地域資源（県内大学／地元企業／住民等）を校内に積極的に取り込み、地域協働の推進役として、高大連携を意識した取組を学校の実情に応じて行うことができる。	・保護者や地域社会と積極的に交わり、その思いや願いを的確に把握し、校長に報告するとともに、学校運営に活かすことができる。 ・幼保小の連携を含め、学校段階間の系統性や円滑な接続を意識した教育活動を展開するため、組織の主任等に適切に指示をを出したり、調整したりすることができる。	・保護者や地域社会と積極的に交わり、その思いや願いを捉え、学校経営に活かすことで魅力ある地域づくりに資することができる。 ・幼保小の連携を含め、学校段階間の系統性や円滑な接続を意識した教育活動を展開することができる。
	⑪学校の説明責任・情報発信	・学校評価において、保護者や地域からの意見を積極的に受け入れ改善に努めるとともに、教育活動の成果や課題を校外と共有し、今後の活動に活かすことができる。	・学校評価において、保護者や地域からの意見を積極的に受け入れ改善に努めるとともに、教育活動の成果や課題を校外に向けて具体的かつ詳細に説明することができる。	・学校評価において、保護者や地域からの意見を積極的に受け入れ改善に努めるとともに、学校経営ビジョンや教育活動の成果や課題を校外に向けて明確に発信することができる。

＊1　この指標において「子ども」とは幼児・児童・生徒のことである。

＊2　高等学校に配置された主幹教諭のための指標である。

教諭等のキャリアステージに応じた育成指標

教諭等の育成指標

キャリアステージ ／ 資質能力		採用までに身に付けておいて欲しいこと ＊2	自立・向上期（1～5年目）	探究・発展期（6～15年目）	充実・円熟期（16～概ね25年目）【前期】＊3	円熟期（26年目以降）【後期】
1 豊かな人間性と職務に対する使命感	①人間理解・人権意識	・生命尊重・人権尊重の精神と、多様な価値観を尊重する態度を有している。				
	②職務に対する誇りと責任	・教育職員として必要な倫理観、職務に対する使命感・責任感を持ち、自分の将来のキャリアや求められる役割を意識しながら、変化に応じて常に学び続けようとしている。 ・危機管理の知識や視点を持ち、教育活動における事故・災害等に普段から備えている。 ・関係法の理念を十分理解し、教育職員等による児童生徒性暴力等を断固として許さず、子どもの尊厳を保持しようとしている。				
	③ふるさとを愛する心	・地域の自然・歴史・文化・伝統を理解し尊重する態度、ふるさとを愛する人材育成への意欲を有している。				
2 子どもの発達の支援に対する理解と対応 ＊1	④生徒指導の推進	・発達段階を踏まえた子ども理解・子ども支援、キャリア発達など生徒指導に必要な基礎理論・知識を習得している。	・子どもとのふれあいや観察を通して、様々な行動の内に恣む微妙な心の動き、キャリア発達を共感的に受け止め、良さや可能性を伸ばしながら、学級等の集団づくりを進めることができる。	・子どもの心身の発達やキャリア発達に対する理解を深め、個に応じた指導や学年等の集団指導を実践することができる。	・キャリア発達の視点をふまえ、教職員と協働したりしながら、さまざまな場面をとらえて子どもが自分らしい生き方を実現するための力を育成することができる。	・子どもに関わる様々な問題やキャリア発達への対応力を身に付け、学校の教育活動全体を通した連携体制をつくりながら、子どもの自己実現の達成をめざして支援していくことができる。
	⑤特別支援教育の推進	・特別な配慮や支援を必要とする子どもへの指導に関する基礎理論・知識を習得している。	・特別な配慮や支援の必要な子どもの実態把握を行い、一人一人のニーズに応じた指導や支援についての計画を立て、実践することができる。	・特別な配慮や支援の必要な子ども一人一人の支援計画・指導計画に基づき、学習上・生活上の支援の工夫、指導の実践を行うことができる。	・特別な配慮や支援の必要な子どもに組織的に対応するための知識や方法を身に付け、家庭や地域等と連携することができる。	・校内での支援体制の構築や関係機関及び異校種等との連携など、特別支援教育を組織的に推進することができる。
			＜全キャリアステージに共通した指標＞ ・インクルーシブ教育システムの理念、授業のユニバーサルデザイン化、合理的配慮の提供に関する考え方等を踏まえて、教育活動を実践することができる。			
3 職務にかかわる専門的知識・技能及び態度	⑥教科等の指導に関する専門性	・教育課程の編成、教科等の指導方法に関する基礎理論・知識を習得している。	・教科等を学ぶ意義を踏まえて指導計画を作成し、教科等の指導を実践することができる。 ・子どもの心身の発達や学習過程に関する理解に基づいて、興味・関心を引き出す教材研究をしたり、学習者中心の授業となるよう工夫したりすることができる。	・教科等の専門的知識及び技能の習得に努めるとともに、カリキュラム・マネジメントの意義を理解し、その視点をふまえて教科等を相互に関連させながら協働して授業研究を行うなど意欲的に教育実践に取り組むことができる。 ・子どもの「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組むなど、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた授業を行うことができる。	・教科等の専門的知識・技能及び態度を高め続けることができる。 ・教科等の相互関連や学校段階間の円滑な接続を意識した教育実践を 行うことができる。 ・校内研修の中心的な役割を担うことができる。	・教科等の専門的知識・技能及び態度をさらに高め、後進に適切な助言を与えながら、人材育成に取り組むことができる。
	⑦ICTや情報の利活用 ＊4	・ICTを活用した授業デザインを実現するための、ICT活用に関する基礎的な知識（情報モラルを含む）や基本的な技能を有している。	・今まで学んできたICT活用や教育データ活用に関する基礎的基本的な知識・技能を教科等の指導や校務に積極的に取り入れながら活用することができる。	・教育データを整理・分析し適切に業務に取り入れながら、ICTをより効果的な形で活用することができる。	・時代に即応した知見を取り入れつつ、さらに専門性の向上をはかりながら、同僚と連携・協働し、校内に広めていくことができる。	・校務の情報化の推進に積極的に参画するとともに、後進に適切な助言を与えながら育成することができる。
			＜全キャリアステージに共通した指標＞ ・学校におけるICT活用の意義を理解し、教育活動の中で効果的に活用するとともに、他の教職員と共有し広めていくことができる。 ・子どもの情報活用能力（情報モラルを含む）を育成するための授業実践を行うことができる。			
	⑧社会の変化への対応	・新たな学びや教育課題に対して、積極的に挑み試行錯誤しながら粘り強く取り組む意欲や探究心を有している。	・新たな学びや教育課題に対して、適切な対応の仕方を具体的に考え取り組むことができる。	・新たな学びや教育課題に対して、適切な対応の仕方を提案し、協働して取り組むことができる。	・新たな学びや教育課題に対して、長期的な見通しをもって組織的に取り組むことができる。	・新たな学びや教育課題に対して、より幅広い視点に立って自分自身をさらに向上させていくことができる。
4 学校組織の一員として考え行動する意欲・能力	⑨学校組織マネジメント	・学校教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を習得している。	・学校教育目標に沿った自己目標を立て、その達成に向けて取り組むことができる。	・組織の一員としての役割を理解し、学校の課題に対応することができる。	・スクールリーダーとしての自覚や責任を持つとともに、企画力や調整力を発揮して教育活動を円滑に進めることができる。	・学校教育目標の達成を目指し、学校の運営・指導体制構築に積極的に参画することができる。
	⑩他者との連携・協働	・集団で活動する際、自己を成長させようとする意欲や態度を有している。	・他の教職員の意見を活かしながら、自らの役割に応じて行動することができる。	・経験豊かな教職員から多くのことを学ぶとともに、同僚と連携・協働しつつ、後進に助言を与えるなどして育成にも目を向けることができる。	・他の教職員の役割分担や業務の進捗状況を把握・調整しながら、相互に支えあう体制づくりができる。	・職場の同僚性が発揮できるような雰囲気づくりをするとともに、後進を育成する観点を持ちながら組織を動かしていくことができる。
5 よりよい社会をつくるための意欲・能力	⑪地域資源の活用と地域貢献	・学校教育活動を通して、地域社会に貢献することについて、自分なりの考えや意欲を有している。	・子どもと地域社会をつなごうとする意欲を持ち、地域と連携した学校教育活動を計画に基づいて実践することができる。	・学校外の様々な地域資源や機会を活用し、地域と連携した学校教育活動を効果的に実践することができる。	・地域にある他の学校および幼児教育・保育施設や行政との連携・協働について、円滑な接続を意識しながら企画力や調整力を発揮して、主体的・組織的に実践することができる。	
	⑫合意形成に向けた議論の調整・促進	・子ども同士の話し合いの場面において、適切に働きかける力を有している。	・子ども同士が協働し、探究していく活動を円滑に実践することができる。	・現実の社会や地域との関わりを意識しながら、子ども同士が議論をしたり、合意形成を図ったりするよう促すことができる。	・地域課題解決型学習などを企画することができ、魅力ある地域づくりに向けた議論を効果的に調整・促進することができる。	

＊1　この指標において「子ども」とは幼児・児童・生徒のことである。

＊2　「採用までに身に付けておいて欲しいこと」は、採用時における資質能力の目安として示した。

＊3　「充実・円熟期」の「前期」と「後期」の境目は概ね25年目を目安とするが、個々の教員の実態に応じて柔軟に運用してよいものとする。

＊4　指標⑦「ICTや情報の利活用」について、求められる資質能力と実態差がある場合には、技能に応じたキャリアステージを起点としつつ、可能な限り早期に自分のキャリアステージの資質能力を身に付けていくこととする。

養護教諭の専門性に基づく育成指標

領域・分野＼キャリアステージ	採用までに身に付けておいて欲しいこと ＊2	自立・向上期（1～5年目）	探究・発展期（6～15年目）	充実・円熟期（16～概ね25年目）【前期】＊3	充実・円熟期（概ね26年目以降）【後期】
保健管理	・学校保健安全法を理解し、保健管理に関する基礎的な知識・技術を習得している。	・救急処置、健康診断、健康観察、疾病管理・予防等の保健管理を通して子どもの健康実態を把握し、適切に対応することができる。	・自校の健康課題を的確に把握し、保健管理を学校保健計画に位置づけ、教職員や関係機関と連携して組織的に対応することができる。	・最新の知識や技能を習得し、保健管理の結果を効果的に活用し、自校の健康課題解決に向け、校内において指導的な役割を担うことができる。	・最新の知識や技能を生かして保健管理の充実を図り、自校の健康課題解決につなげるとともに、地域においても後進を育成することができる。
保健教育	・専門性を生かした養護教諭の役割を理解し、学習指導要領に関する基礎的な知識を習得している。	・子どもの実態から健康課題を捉え、学級担任等と連携し、養護教諭の専門性を生かした保健教育を実践することができる。	・子どもの健康実態や生活実態から自校の健康課題を的確に把握し、その解決に向けた保健教育を計画、実践、評価、改善し、組織的に推進することができる。	・自校や地域の健康課題解決に向け、教育活動全体を通じて校内外の関係者と連携を図りながら、発達の段階を踏まえた体系的な保健教育を推進することができる。	・最新の保健情報や知見等を活用して保健教育の充実を図り、自校の健康課題解決につなげるとともに、地域においても後進を育成することができる。
健康相談・保健指導	・学校保健安全法における健康相談・保健指導の位置づけ及び発達の段階における健康課題とその対応について理解している。	・健康相談・保健指導の基本的プロセスを理解し、子どもの心身の健康課題や現代的健康課題との関連を踏まえて、必要な支援を行うことができる。	・子どもの心身の健康課題を的確に捉えるとともに、関係者が連携・協働する組織体制をつくり、健康相談・保健指導を通した効果的な支援を展開することができる。	・子どもの心身の健康課題に応じ、専門的観点を生かした健康相談・保健指導を行うとともに、学校内外の関係者との連携におけるコーディネーター的役割を果たすことができる。	・最新の保健情報や知見、関係者との連携を通して健康相談・保健指導の充実を図り、自校の健康課題解決につなげるとともに、地域においても後進を育成することができる。
保健室経営	・養護教諭の職務と役割、学校保健活動のセンター的機能を果たす保健室の役割を理解している。	・学校教育目標を踏まえ、子どもの健康課題の解決に向けた保健室経営計画を作成し、計画に沿って実践することができる。	・学校教育目標を踏まえ、子どもの健康課題の解決に向けた保健室経営計画を基に、教職員と連携して組織的な保健室経営を実践することができる。	・学校教育目標の実現に向け、保健室経営計画を基に、評価・改善を図りながら、効果的に保健室経営を推進することができる。	・学校経営の観点に立って保健室経営の充実を図り、学校教育目標の達成と健康課題解決につなげるとともに、地域においても後進を育成することができる。
保健組織活動	・保健組織活動の意義と学校・家庭・地域等の協力体制の重要性を理解している。	・家庭・地域等と連携し、子どもの健康課題解決に向けた保健組織活動を推進することができる。	・学校と家庭・地域等の実態を適切に把握・分析し、当校の健康課題解決に向け、計画的・組織的に保健組織活動を推進することができる	・自校の健康課題や地域の健康実態を踏まえて家庭・地域等とネットワーク体制を構築し、保健組織活動の推進におけるコーディネーター的役割を果たすことができる。	・地域の特性や家庭の実態を踏まえて健康課題を捉え、校内外の関係者との連携を通して保健組織活動の充実を図るとともに、地域においても後進を育成することができる。

※養護教諭には、教諭等の育成指標「3 職務にかかわる専門的知識・技能及び態度 ⑥教科等の指導に関する専門性」に加え、その専門性に基づき、上記の資質能力が求められる。

栄養教諭の専門性に基づく育成指標

領域・分野＼キャリアステージ		採用までに身に付けておいて欲しいこと ＊2	自立・向上期（1～5年目）	探究・発展期（6～15年目）	充実・円熟期（16～概ね25年目）【前期】＊3	充実・円熟期（概ね26年目以降）【後期】
食に関する指導	給食の時間・教科等における指導	・教育活動全体を通して食育を推進するための基礎的な知識を習得している。	・学習指導要領や児童生徒の実態に基づいた指導の必要性を理解し、食育の視点を位置づけた指導ができる。	・学習指導要領に基づいた食に関する指導内容を企画・調整し、給食献立計画と関連づけながら実践するとともに、その評価を行うことができる。	・学校教育活動全体を視野に入れ、指導体制を整えて効果的に食育推進組織の計画、実践、評価し、改善を図ることができる。	・地域、近隣の学校などとの連携・調整を図り、市町村の食育計画や推進に関して主体的に関わることができる。
	個別的な相談指導	・児童生徒の個別の栄養相談の重要性を理解している。	・食に関する健康課題や栄養相談について基礎的な知識を有し、個々の状況に応じて適切に対応できる。	・関係機関と連携しながら、個別の教育支援計画に基づき、個別の指導計画の作成に参画し、活用することができる。	・組織的な校内支援体制を構築し、関係機関等と連携を図りながら、児童生徒の食に関する健康課題等について適切に対応することができる。	・食に関する健康課題への予防策や対応策について校内や地域で積極的に発信し、関係者の課題への理解や意識の向上に向けた取組を推進することができる。
学校給食の管理	栄養管理	・学校給食の教育的意義を理解し、適切な栄養管理に関する基礎的な知識を有している。	・学校給食実施基準に基づくとともに、食品構成を考慮した献立を作成することができる。	・児童生徒の成長や地域の特性を踏まえた栄養管理を行うとともに、適切な評価や改善を行うことができる。 ・調理従事者や施設に合わせた献立を作成し、調理指導ができる。	・児童生徒の実態に沿った栄養管理の在り方について関係者と共有し、課題解決のための指導助言を行うことができる。 ・給食管理を食に関する指導と一体化した視点から評価・改善し、学校や地域の特色に応じた献立作成をすることができる。	・献立作成や調理指導の方法に関し、他の栄養教諭等に対して指導的役割を果たすことができる。
	衛生管理	・衛生管理の重要性について理解し、適切に実施するための意欲を有している。	・学校給食衛生管理基準に基づき、具体的な対応方法を考え、指導することができる。	・学校給食施設の設備や調理従事者の状況を踏まえ、適切に学校給食衛生管理基準を適用することができる。	・調理作業や施設の衛生管理について課題を的確に捉え、改善するとともに、学校における衛生管理などを含め、適切な指導・助言ができる。	・衛生管理に関する高い専門的知識を生かした実践を踏まえ、他の栄養教諭等に対して指導的役割を果たすことができる。

※栄養教諭には、教諭等の育成指標「3 職務にかかわる専門的知識・技能及び態度 ⑥教科等の指導に関する専門性」に加え、その専門性に基づき、上記の資質能力が求められる。

学校事務職員の育成指標

<table>
<tr><th colspan="2">キャリアステージ
資質能力</th><th>主事</th><th>主任主事</th><th>主任</th><th>事務主幹</th><th>事務リーダー</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1　豊かな人間性と職務に対する使命感</td><td>人間理解・人権意識</td><td colspan="5">・生命尊重・人権尊重の精神と、多様な価値観を尊重する態度を有している。</td></tr>
<tr><td>職務に対する誇りと責任</td><td colspan="5">・学校事務職員として必要な倫理観、職務に対する使命感・責任感、学び続ける意欲を有し、自分の将来のキャリアや求められる役割を意識しながら、変化に応じて常に学び続けようとしている。
・危機管理の知識や視点を持ち、教育活動における事故・災害等に普段から備えている。
・関係法の理念を十分理解し、教職員による児童生徒性暴力等を断固として許さず、子どもの尊厳を保持しようとしている。</td></tr>
<tr><td>ふるさとを愛する心</td><td colspan="5">・地域の自然・歴史・文化・伝統を理解し尊重する態度、ふるさとを愛する人材育成への意欲を有している。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2　職務にかかわる専門的知識・技能及び態度</td><td>法制度の理解と運用</td><td colspan="2">・職務の根拠となる法制度の基礎基本を正しく読み取り、理解した上で実務を処理することができる。</td><td>・職務の根拠となる法制度や実例を幅広く理解し、自校の業務改善等に応用することができる。</td><td colspan="2">・職務の根拠となる法制度や実例を幅広く把握し、自校や事務グループ内の学校への情報提供や助言を行い、リーガルマインドの定着やコンプライアンスの確保に寄与することができる。</td></tr>
<tr><td>財務マネジメント</td><td>・財務の基本的な知識を身に付け、迅速・正確に実務を遂行することができる。</td><td>・財務の知識と経験に基づき、自校の現状と課題把握に努めつつ、迅速・正確に実務を遂行することができる。</td><td>・財務に関する高度な知識と経験に基づき、自校の改善計画の提案・実践等を通じたマネジメントに取り組むことができる。</td><td colspan="2">・財務に関する高度かつ幅広い知識と経験に基づき、自校及び事務グループ内の学校の改善計画策定・提案・実践等を通じたマネジメントを行うことで、健全化・安定化を図ることができる。</td></tr>
<tr><td>教育・校務の情報化</td><td colspan="2">・教育活動や校務事務の情報化の推進について理解し、適切なＩＣＴ機器・周辺機材の整備を図ることができる。</td><td>・教育活動や校務事務の情報化の推進について理解を深め、ＩＣＴ機器・周辺機材の整備等を図ることができる。</td><td colspan="2">・教育活動や校務事務の情報化の推進について理解を深め、自校及び事務グループ内の学校におけるＩＣＴ機器・周辺機材の整備等を通じて、デジタル環境の充実に向けた支援を行うことができる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3　組織の一員として考え行動する意欲・能力</td><td>学　校</td><td>・校長が示す学校教育目標達成に向け、他教職員と関わりながら学校事務職員が果たす役割を理解し、行動することができる。</td><td>・校長が示す学校教育目標達成に向け、他教職員との協働により主体的に学校運営に参画することができる。</td><td>・校長が示す学校教育目標に対して、学校事務職員としての専門的な立場から学校運営に参画することができる。</td><td colspan="2">・校長が示す学校教育目標に対して、学校事務職員としての専門的な立場から学校運営に参画し、管理職と共に他教職員の連携・協働を推進することができる。</td></tr>
<tr><td>事務グループ</td><td>・事務グループ内で他の職員から学ぼうとする意欲を持ち、学んだことを日々の業務に活かすことができる。</td><td>・事務グループ内での自分の役割を理解し、協働により取り組むことができる。</td><td>・事務グループで実務レベルでの中心的な役割を担い、業務改善・効率化及び若年層への支援・助言を行うことができる。</td><td>・事務グループでリーダーを支えながら、業務改善・効率化及びＯＪＴによる人材育成を推進することができる。</td><td>・事務グループで中心的な役割を担い、他機関との連携による業務改善・効率化推進、グループ員への指導助言・人材育成等を図ることができる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">4　子どもの発達の支援に対する理解と対応　＊1</td><td colspan="3">・子どもの発達や子どもを取り巻く環境、教育活動について理解し、必要な教育環境整備を行うことができる。
・特別支援教育について理解し、一人一人のニーズに応じた指導・支援に対する環境整備を推進することができる。</td><td colspan="2">・子どもの発達や子どもを取り巻く環境、教育活動に対する理解を深め、主体的に教育環境整備についての提案を行うことができる。
・特別支援教育の推進について理解を深め、校内における多様な学びの場の構築に向けた支援体制・環境整備について適切な提案を行うことができる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">5　よりよい社会をつくるための意欲・能力</td><td>・学校教育活動を通して子どもと地域社会をつなごうとする意欲を持ち、地域資源についての理解を深めることができる。</td><td>・学校教育活動を通して子どもと地域社会をつなごうとする意欲を持ち、積極的に地域と関わりを持つことができる。</td><td>・学校教育活動を通して子どもと地域社会をつなぐことができる。</td><td>・学校教育活動と学校外の様々な地域資源や機会を結び付け、効果的に子どもと地域社会をつなぐことができる。</td><td>・地域にある他の学校や行政との連携・協働について、企画力や調整力を発揮して、主体的・組織的に進めることができる。</td></tr>
</table>

1　この指標において「子ども」とは児童・生徒のことである。
2　定年引上げ者及び暫定再任用者については職階に応じた役割を担い、任用校の業務を最優先としつつ、それまでに培った知識・経験等を活かして、後進にアドバイザー・ノウハウ継承等の役割も期待する。

（３）研修の種類

①　県教育委員会が実施する研修

この研修は、今日の社会的な要請等にも配慮しながら、職務に応じた資質能力を高めるのに必要な研修機会を提供するもので、「島根県の教職員として求められる基本的な資質能力」を踏まえ、必要性が高い研修の重点化を図った上で、その内容から「喫緊の課題や県の教育課題・実態に対応する研修」と「参加者の自主的な参加による個々の資質能力向上をねらいとした研修」に大別し、次のように分類する。

ア　喫緊の課題や県の教育課題・実態に対応する研修

県の教育課題に対応し、全教職員に必須とする研修や各学校のリーダーを養成する研修であり、参加者を特定したり、テーマを特定したりして行う。

教職経験年数に応じた研修

教職員研修の基幹として、教職員としての生涯にわたる研究と修養の観点に立ち、教職経験年数に応じて、専門職としての職務遂行に必要な知識・技能・態度を習得させるために行う新任教職員研修（初任者研修及び新規採用教職員研修）、フォローアップ研修及び教職経験者研修。

管理職等研修

各学校の管理職等に対し、経験年数に応じた学校運営上必要な知識・技能の習得及び自覚の向上等を目的として行う研修。

職務研修

職務遂行上必要な知識・技能の習得や校内のリーダーとしての自覚の向上等を目的として、職務や分掌上の校務に応じて行う研修。

テーマ研修

社会の変化に対応するための教育課題や、県教育委員会の喫緊の課題を解決するために行う研修。

派遣研修

県の教育課題を解決するために適任者を県教育委員会が派遣する研修。

イ　参加者の自主的な参加による個々の資質能力向上をねらいとした研修

能力開発研修

社会の変化に対応した教育を行うために、教職員が自発的に参加し、資質能力の向上を図る研修。

②　学校や教育研究団体、市町村教育委員会等が実施する研修

この研修は、基本的に個々の教職員の自主的・主体的な研修意欲に基づいた研修であり、県教育委員会としてこの研修を奨励し、支援体制を整備する。

各学校が実施する研修、教育研究団体等が実施する研修、市町村教育委員会が実施する研修、教職員が個人的に実施する研修がある。

なお、各市町村教育委員会においては、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 45 条」の規定に基づき、所管する学校の教職員に対して、服務監督者として、それぞれの地域の実態に応じて必要な内容の研修を行っているが、県教育委員会が協力を求め、研修の有機的な関連を図る必要がある。

（４）県教育委員会が実施する研修と校内支援等の方針

①　研修観の転換を図った研修の質の向上と効果検証

参加者が主体的に学びを深めることができるよう、対話やリフレクション等を重視した研修の質の向上を図る。

また、一つ一つの研修サイクルを効果的に機能させ、研修と指導、校内人材育成との一体化を図る。そのため、研修の重点・精選化を図り、その質をより一層向上させる。

さらに、研修のねらいをより明確にし、研修後の校内実践や普及を促すシステムを構築する。そして、その成果を効果的に検証し、事後の指導や研修の改善に活かす。

また、これらの研修が系統的・体系的に実施できるように、研修推進に係る組織を島根県教育センターに置き、機能の強化と連携推進を図る。

また、教師がこれまでの学習履歴や、自らに対する評価等を踏まえて、学校管理職等との積極的な対話を踏まえながら、主体的に学ぶこと、教師においても個別最適な学びと協働的な学びを進めていくこと、等の視点から研修の改善を図る。

②　教職経験年数に応じた研修の改善

新任教職員研修、教職経験６年目研修、中堅教諭等資質向上研修及び専門性向上研修が系統的に実施されるよう、研修目的や内容を整理する。

また、新任教職員研修を採用１年目で完結させると捉えるのではなく、初任校で複数年かけて採用者を育成するという考えを基に、フォローアップ２年目・３年目研修を設定する。それに伴い、新任教職員研修の軽減・重点化を図る。

教職経験６年目研修については、受講者のキャリアアップのために価値ある研修であると考え、６年目選択研修を導入し、主体的に学び続ける教職員の育成につなげる。

さらに、県教育委員会が行う校外研修等と校内研修・校内人材育成が一体的に行われるよう指導体制の整備を行うとともに、校内研修の支援強化を図る。

③　管理職等研修の充実

学校運営の核である管理職等が、マネジメント力を高めリーダーシップを発揮して学校運営及び人材育成を行えるよう、日常の教育実践を基にした、より実践的な内容・方法で研修を実施する。

また、経験年数に応じた段階的な研修を初任段階に重点的に課したり、管理職個々が設定した課題に応じて選択する研修（管理職セレクト研修）を実施したりする。

④　学校事務職員研修の充実

学校事務職員が主体的に学校運営に参画することで、教育活動はよりよいものになっていく。そのことは教育の質の向上にもつながることであり、学校事務職員においても学び続ける姿勢が期待されている。

このことを踏まえ、職階に応じた研修の充実を図るとともに、事務リーダー選択可能研修の対象を広げ、個々の課題に基づいて研修を選択し聴講する機会の拡大を図る。

⑤　研修の重点化

学校マネジメントを中心とした研修内容を設定し、特にミドルリーダー育成をねらいとした研修を実施する。

職務研修は、当該職務の新任段階に重点的に研修を課し、職務に対する専門的な知識や技能の習得を図る。その後は、個人の実態に即した主体的な研修や管理職等による人材育成が的確に行えるよう支援を行う。

テーマ研修は､社会の急激な変化に対応するための教育課題や県の喫緊課題を解決するために、教職員全員に広めることが必要な内容を焦点化して実施する。さらに、地域や学校の実態に合わせた研修運営への積極的な転換を図るとともに、能力開発研修との整理・統合を進める。

能力開発研修は、教員一人一人が自らの課題に基づいて自主的・主体的に自己の職能レベル向上を目指す研修とする。年度当初設定した教職員評価システムの自己目標に基づいて選択するように促すとともに、研修の目的や内容が明確なものとなるよう努める。また、研修ニーズへの対応や研修機会の拡大を図るため、鳥取・島根連携講座や埼玉連携講座、島根大学との連携による共催研修の実施の拡充を図る。

⑥　校内研修等の支援強化

学校が自走し、学び続ける教職員の育成が計画的、主体的に推し進められるよう、校内研修や教育研究団体等が行う 研修に対して、支援に努める 。

ア 各学校の校内研修への支援（ 出前講座、 要請訪問、 申請訪問、 講師派遣、 資料提供等）

イ 校内研修の充実や授業研究の改善に関する 研修の実施

ウ 教育研究団体等への支援（ 出前講座、 申請訪問、 情報提供）

出前講座、要請訪問、訪問指導については、県教育委員会の一体的な実施に向け、組織や運営方法の整理を行う。また、学校や教職員のニーズに対応するため、出前講座のテーマ拡充、申し込み方法等の改善を進める。

この他、教育研究団体等との有機的な連携・協力を図るため、連絡を緊密にし、相互の研修推進に努める。

また、市町村教育委員会に積極的に情報を提供し、研修の有機的な関連を図るよう求める。

⑦　自己啓発への支援

教職員が課題意識をもって個人的に研修を行ったり、研究を深めたりする自己啓発について支援するために、教育センター等で実施した研修の資料を積極的に情報提供する。

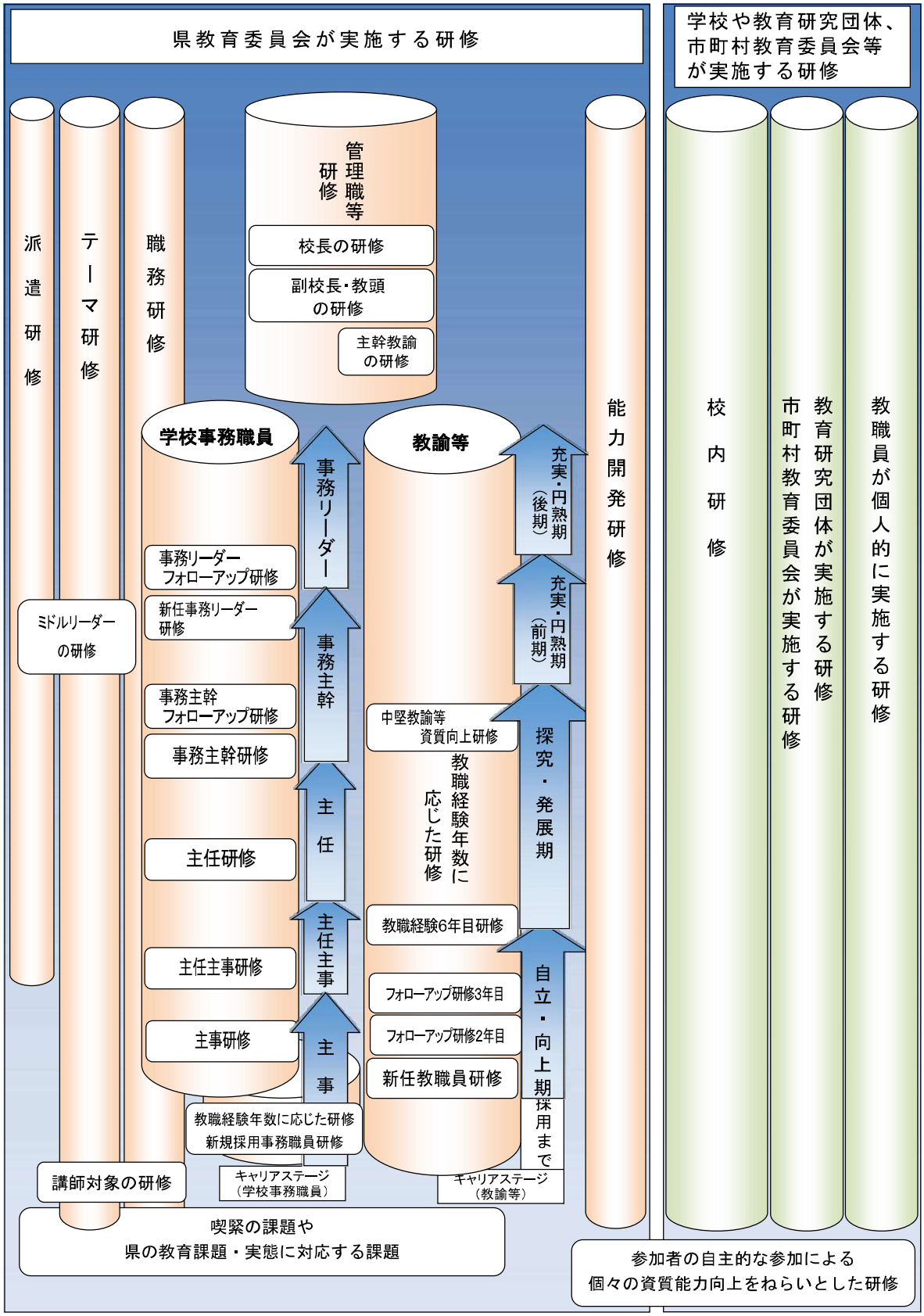
また、教職員評価システムの自己目標管理が、学校管理職の人材育成、教育センター等の校外研修と一体的に機能するように図る。

⑧　派遣研修

派遣研修には、**長期社会体験研修**や**大学院派遣**、**海外派遣**、**中央研修派遣**、**教育センター長期研修**等があるが、いずれも県教育委員会の課題に基づいて、教職員を派遣する。

２　島根県教職員研修体系

「島根県公立学校教育職員人材育成基本方針」「島根県公立小・中・義務教育学校事務職員人材育成基本方針」に基づき、島根県教職員研修の体系を図に示す。



令和７年度に実施する研修

（１）教職経験年数に応じた研修

研修番号	研　修　名	主 管
415	初任者研修	教育センター
605	新規採用養護教諭研修	
940	新規採用栄養教諭研修	
1013	新規採用幼稚園教諭研修	
988	新規採用小・中学校事務職員研修	
1034	新規採用寄宿舎指導員研修	
942	新規採用県立学校実習教員研修	
●1085	フォローアップ研修（教諭・２年目）	
●1111	フォローアップ研修（教諭・３年目）	
●1086	フォローアップ研修（養護教諭・２年目）	
●1112	フォローアップ研修（養護教諭・３年目）	
●1087	フォローアップ研修（栄養教諭・２年目）	
720	教職経験６年目研修（教諭）	
722	教職経験６年目研修（養護教諭）	
1016	教職経験６年目研修（栄養教諭）	
989	教職経験６年目研修（実習教員）	
1166	教職経験６年目研修（寄宿舎指導員）	
1195	中堅教諭等資質向上研修（教諭）	
1196	中堅教諭等資質向上研修（養護教諭）	
1197	中堅教諭等資質向上研修（栄養教諭）	
1198	中堅教諭等資質向上研修（幼稚園教諭）	
1199	専門性向上研修（実習教員）	
1262	中堅研修（幼児教育施設）	島根県幼児教育センター

（２）管理職等研修

研修番号	研　修　名	主 管
1239	小・中学校等校長学校経営実践研修	島セ(企画･研修S)
1240	小・中学校等教頭学校運営実践研修	
1118	管理職研修（新任校長）	
1119	管理職研修（２年目校長）	
1120	管理職研修（新任副校長・新任教頭）	
1121	管理職研修（２年目副校長・２年目教頭）	
1122	管理職研修（３年目副校長・３年目教頭）	
1123	主幹教諭研修（新任）	
1236	主幹教諭研修（２年目）	
1263	管理職研修（幼児教育施設）	島根県幼児教育センター

（３）職務研修

研修番号	研　修　名	主 管
1168	生徒指導主任・主事等研修（義務）	学校教育課（子ども安全支援室）
1169	生徒指導主事研修（県立学校等）	
1170	学校安全（災害安全）研修	
1171	学校安全（生活安全）研修	
535	健康教育（学校保健）研修	保健体育課（健康づくり推進室） 島根県教育センター
628	養護教諭研修	
843	栄養教諭研修	
1226	新任等学校栄養職員職務研修	
1227	新任等養護助教諭職務研修	島セ（企画・研修Ｓ） 保健体育課（健康づくり推進室）
1327	教職経験６年目研修（養護教諭）スキルアップ研修	
1328	教職経験６年目研修（栄養教諭）スキルアップ研修	
478	小・中学校教務主任研修	島セ（企画・研修Ｓ）
655	小・中学校研究主任等研修	
1223	県立学校道徳教育研修	
1129	新任講師等研修	
963	小・中学校事務職員新任事務リーダー研修	
971	小・中学校事務職員主事研修	
1095	小・中学校事務職員主任研修	
1162	小・中学校事務職員事務主幹研修	
1265	新任臨時的任用等学校事務職員研修	
1264	数理枠採用５年目研修及び６年目研修	
1297	新任学校図書館担当者研修	

（３）職務研修

研修番号	研　修　名	主 管
1266	教育課程デザイン研修	学校教育課（高校教育S）
1267	ICT教育の基盤に係る管理研修	教育連携推進課（教育DX推進室）
1268	ICT活用推進リーダー教員研修	
1315	共通教科情報「情報Ⅰ」・「情報Ⅱ」研修	
858	小・中学校特別支援学級、通級による指導新任担当教員研修	島セ（教育相談S）
919	新任特別支援教育コーディネーター研修	
1329	新任人権教育担当主任等研修	人権同和教育課
1270	学校・福祉連携推進教員研修	
1167	特別な支援のための非常勤講師(にこにこサポート事業)研修	特別支援教育課
1182	特別支援教育専門性向上研修	
1255	通級による指導担当教員等研修	
1305	医療的ケア児担当者研修	

（４）テーマ研修

研修番号	研　修　名	主 管
1131	講師等対象授業づくり研修	島セ（企画・研修Ｓ）
1293	中学校数学理科教員リーダー育成研修	
1051	外国語指導助手の指導力等向上研修	学校教育課（高校教育S）
1241	中学校体育教員（領域）研修	保健体育課（学校体育Ｓ）
886	中・高種目別指導者研修会	
615	中・高等学校体育実技研修	
616	小学校体育実技研修	
1185	保育教諭・幼稚園教諭・保育士合同研修	島根県幼児教育センター
1202	幼児教育推進研修	
1144	日本語指導が必要な児童生徒教育研修	学校教育課（義務教育推進S）
1326	学びの根っこをぐんぐん伸ばすプロジェクト「学びの基盤に関する調査」研修	
1229	高等学校探究学習担当者研修	学校教育課（キャリア教育S）
1330	小・中学校特別支援教育コーディネーターアドバンス研修	島セ（教育相談S）
1176	複式学級新任担当者研修	浜セ（研究・研修Ｓ）
1186	ミドルリーダー育成研修	
1278	ゼロから学びたい先生のための教科教育研修（中学校免許外教科：音楽、美術、技術・家庭、保健体育編）	
5002	若手教員授業力向上セミナー	
1277	ふるさと教育研修	社会教育課

（５）派遣研修

研修番号	研　修　名	主 管
1019	島根県現職教員研修	学校企画課
1343	職階別中央研修	
1344	探究型中央研修	
670	教員長期社会体験研修	
671	島根大学大学院派遣	
1320	学校組織マネジメント研修	学校企画課・教育センター
1321	道徳教育研修	学校教育課（義務教育推進室）
686	外国人児童生徒等に対する日本語指導者養成研修	
688	産業・情報技術等指導者養成研修	
689	キャリア教育指導者養成研修	
712	産業教育実習助手研修	
717	学校農業クラブ指導者養成講座	
787	伝統音楽指導者研修会	
1323	カリキュラム・マネジメント研修	
955	美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修	
1180	小学校における外国語教育指導者養成研修	
1324	幼児教育専門研修	
1325	教師の英語力・指導力の向上のための実践オンライン研修	
674	特別支援教育専門研修	特別支援教育課
1179	高等学校における通級による指導に関わる指導者研究協議会	
1306	特別支援学校寄宿舎指導実践協議会	
1307	特別支援教育におけるICT活用に関わる指導者研究協議会	
1308	視覚障害リハビリテーション研修会（非開催年）	
696	体育・保健体育指導力向上研修(西部ブロック)　（旧西部地区学校体育指導者中央講座）	保健体育課
949	健康教育指導者養成研修	
1164	食育指導者養成研修	
1238	体力向上マネジメント指導者養成研修	

（５）派遣研修

研修番号	研　修　名	主 管
1261	人権教育推進研修	人権同和教育課
1317	拉致問題に関する教員等研修	
1163	学校安全指導者養成研修	学校教育課（子ども安全支援室）
1257	生徒指導基幹研修	
1258	教育相談基幹研修	

（６）能力開発研修

分類	研修番号	研　修　名	主 管
教科等	113	小学校算数科教育講座	島セ（企画・研修Ｓ）
	528	小中学校国語科書写実技講座	
	815	中・高等学校国語科教育講座	
	816	中学校社会科、高等学校地理歴史科・公民科教育講座	
	817	中・高等学校数学科教育講座	
	819	中・高等学校家庭科教育講座	
	887	中・高等学校外国語教育講座	
	1035	小学校社会科教育講座	
	1136	小学校理科教育講座	
	1155	高等学校理科教育地学講座	
	1081	中学校道徳教育講座	
	1279	小学校理科教育（基礎・基本）講座	
	1282	中学校理科教育オンライン講座	
	1151	中学校理科教育講座	
	1231	小学校外国語教育講座	
	751	小・中学校「総合的な学習の時間」講座	
	1342	高等学校産業教育　授業デザイン講座	島セ（企画・研修S）、（研究・情報S）、学校企画課、学校教育課
	522	高等学校産業教育実技（農業）講座	島セ（企画・研修S） 学校教育課
	255	小学校国語科教育講座	浜セ（研究・研修Ｓ）
	781	中・高等学校音楽科教育講座	
	1137	小学校音楽科教育講座	
	1300	小学校特別活動講座	
	1301	中学校特別活動講座	
	1302	キャリア教育の要！特別活動講座	
	639	小学校図画工作科教育講座	
	1256	中・高等学校美術教育講座	
	1152	高等学校理科教育物理講座	島セ（研究・情報S）
	862	中学校技術教育講座	
	1283	高等学校英語ディベート指導のためのジャッジ養成研修	学校教育課
	206	高等学校産業教育実技（商業）講座	島セ（企画・研修S） 学校教育課
教育課題	1235	学校図書館を活用した授業改善講座	浜セ（研究・研修Ｓ）
	1206	就学前人権教育講座	人権同和教育課
	1284	国立療養所長島愛生園訪問研修	
	1331	人権教育講座	
教育の情報化	1189	AI時代のプログラミング教育実践講座	島セ（研究・情報S）
	1285	学びの可能性を広げる！遠隔・オンライン活用講座	
	1286	校務改善のための教育データ活用講座	
	1287	クラウドの強みを生かした授業デザイン講座	
	1288	子どもが主体のコンテンツ活用講座～NHK for schoolを中心に～	
	1289	AI時代の教育情報セキュリティ講座	
	1290	児童生徒が自ら考える力を高める！情報モラル教育実践講座	
	1291	授業で育み活かす！子どもの情報活用能力育成講座	
	1332	校内の情報化を進めたい教員のためのICT活用推進実践講座	

（６）能力開発研修

分類	研修番号	研　修　名	主 管
生徒指導・教育相談・特別支援教育	921	不登校の理解と支援講座	島セ（教育相談Ｓ）
	1298	子ども理解と支援講座	
	1100	教職員のかかわる力を高める実践講座	
	1333	愛着（アタッチメント）形成に課題を抱える子どもの理解と支援講座	
	1334	発達障がいのある子どもの理解と特別支援学級の授業づくり講座	
	1335	通常の学級における多様な学びを支える基礎講座	
	1337	特別支援学校センター的機能担当者実践講座	
	1336	明日からの支援に生かす！特別支援学級・通級による指導担当のための実践講座	浜セ（相談S）
	1338	学びが変わる！　知的障がいのある子どもの理解と授業づくり講座	
	1339	「個別の教育支援計画」でつなげる支援・つながる支援講座	
	1303	いじめ・不登校を防ぐ！学級づくり講座	
	1222	よりよい関係づくり実践講座	
	1341	生徒指導の４つの視点から考える子どもの自己実現支援講座	学校教育課
学校運営	1194	教育法規の基礎講座	島セ（企画・研修Ｓ）
	1192	人材育成・コーチング講座	
島大連携	9019	図画工作科の授業と教材開発	島根大学・島根県教育センター
	9020	小学校社会科の授業デザインと教材開発	
	9021	今どきの思春期、今どきの保護者をどう理解するのか	
	9022	総合的な学習・探究の時間の開発	
	9023	ファシリテーターとしての教師 ～理論と実践～	
	9024	教育評価の新たな地平	
	9025	生徒同士をつなぎ、自治的な力を育むことで、いじめの未然防止に取り組んだ中学校の実践に学ぶ	
	9026	発達障がいと愛着障がいのちがい　～支援のためにできること～	
	9027	働き方改革を考える	
	9030	いじめの早期発見・早期対応のために～小・中学校の事例を基に考える～	
	9031	教師の働き方改革～研究と現場との交流を通して考える～	
	9032	ICT活用の可能性	
	9033	学校の組織マネジメントと危機管理	
	9034	いじめ・不登校等が起こりにくい学級（学校）づくり～実践事例から考える学校（教職員）がすべきこと・できること～	
	9036	学校教育における「多文化共生」【現職教員研修と共同開講】	
	9037	教室空間におけるインクルージョン【現職教員研修と共同開講】	
	9038	小学校「外国語活動」「外国語科」の理論と実践（反復開講）	
	9039	小学校「外国語活動」「外国語科」の理論と実践	
	9040	子ども理解とかかわり～特別支援教育の視点から～（反復開講）	
	9041	子ども理解とかかわり～特別支援教育の視点から～	
	9043	基礎からじっくり楽曲分析演習～教材研究の深化を目指して～	
	9045	英語学習における学びの多様性と、授業での工夫を考える（理論編）	
	9046	Q-U調査を活用した児童生徒理解、学級集団理解に基づく教育実践のあり方	
	9047	「宇宙」を素材としたインクルーシブな探究活動	
	9048	共生を実現する学校について考える～多様性の尊重と凝集性（まとまり）の両立を目指して～	
	9049	中学校技術・家庭科技術分野の問題解決のアップデート	
	9050	地理を専門としない教員のための地理分野教材開発	
	9051	アセスメントの重要性と多機関連携の在り方	
	9052	予防・開発的生徒指導　聴くことからはじめる人間関係づくり	
	9053	ＵＤＬに基づく小学校算数科の指導	
	9055	支援につなげるための不登校理解～早期支援に焦点をあてて～	
	9056	英語授業における様々な学び方と支援の在り方	
	9057	自立活動と個別の指導計画の基礎・基本	
	9058	子どもの主体的な学びを実現する道徳科の授業づくり（小学校向け）	
	9059	国語科における文学的文章の「読みの交流」について考える	
	9060	教師の多様性を活かすための学校の変革とリーダーの役割【現職教員研修と共同開講】	
	9061	「教育×テクノロジー」で培う「自ら学ぶ力」～自己調整学習を促進するために～【現職教員研修と共同開講】	
	9062	障がいのあるお子さんを養育されている保護者の「語り」からの学び（反復開講）	
	9063	障がいのあるお子さんを養育されている保護者の「語り」からの学び	
	9064	これからの幼児教育に必要なことがら	

（６）能力開発研修

分類	研修番号	研　修　名	主 管
埼玉連携	9511	［楽しい授業づくり」音楽科研修会Ⅲ（小学校）	埼玉県立総合教育センター・島根県教育センター
	9512	［楽しい授業づくり」音楽科研修会Ⅲ（中学校）	
	9513	図工・美術授業力向上研修会	
	9514	外国語教育における小・中・高等学校の接続を重視した授業力向上研修会	
	9508	小学校外国語専科指導教員による魅力ある授業づくり研修会	
	9515	高等学校数学科・数学的活動の充実を目指す授業づくり研修会	
	9516	ＴＥＣＨ　Ｃａｆｅ～中学校技術・家庭科(技術分野)授業力向上研修会～	
	9517	小学校家庭科授業力向上研修会	
	9518	中学校技術・家庭科(家庭分野)授業力向上研修会	
	9506	高等学校情報科　進学指導を意識した授業づくり	
	9510	みんなで考える　生徒指導・教育相談	
	9519	教育相談カウンセリング研修会	
	9500	管理職・学校の危機管理研修会	
鳥取連携	8001	【幼児教育　園経営研修】学校評価・園評価を教育の質向上につなげるために～園・家庭・地域の連携による園づくりをめざして～	鳥取県教育センター・島根県教育センター
	8002	【小学校国語】学力向上研修～全国学力・学習状況調査を活用した授業づくり～	
	8003	【中学校国語】学力向上研修～全国学力・学習状況調査及び鳥取県の高校入試の問題から授業改善の方向性を紐解く～	
	8004	【中学校国語（授業づくり・定期考査）】めざす資質・能力を育む国語科の授業づくり～定期考査を切り口として～	
	8005	【高等学校国語】こう変わる！学習指導要領を踏まえた国語科の授業～言語文化のバトンをつなぐ～	
	8006	【小学校算数】学力向上研修～全国学力・学習状況調査を活用した授業づくり～	
	8007	【中学校数学】学力向上研修～全国学力・学習状況調査及び鳥取県の高校入試の問題から授業改善の方向性を紐解く～	
	8008	【中学校数学（授業づくり・定期考査）】めざす資質・能力を育む数学科の授業づくり～定期考査を切り口として～	
	8009	【高等学校数学】数学科における探究的な学び～チャイムが鳴った後にも余韻が残る授業へ～	
	8010	【小学校理科】子どもに理科の楽しさを伝える授業づくり～小学校理科で求められる資質・能力の育成～	
	8011	【小学校生活】児童理解をもとに考える信頼性を高める学習評価～気付きがつながり、質的に高まる学びの姿を捉えるために～	
	8012	【中・高等学校音楽】音楽の聴き方を深化させる鑑賞の指導と評価～音楽の役割や価値について思考しながらよさや美しさを味わう鑑賞の学習をめざして～	
	8013	【小学校図画工作】美術館で子どもたちの学びのたねを見つけよう！～教室でみること・つくること、美術館で本物に出合うことの楽しさって何だろう～	
	8014	【小・中・高・特別支援学校体育】水泳が苦手な児童生徒への効果的な指導方法～安心・安全な水泳学習の実施に向けて～	
	8015	【小・中学校家庭】子どもが主役の授業へ！問題解決的な学習の質向上をめざして～「消費生活・環境」の内容を中心に学びを深める～	
	8016	【高等学校情報Ⅰ・情報Ⅱ】主体的・対話的で深い学びを実現する「情報」の授業づくり	
	8017	【小学校外国語活動・外国語】これからの小学校外国語教育～評価の充実と授業改善のヒント～	
	8018	【中学校英語（授業づくり・定期考査）】めざす資質・能力を育む英語科の授業づくり～定期考査を切り口として～	
	8019	【高等学校農業】農業で鳥取の未来を拓く！～探究的な学びで生徒が主役に～	
	8020	【小・中学校道徳①】「深い学び」を実現する道徳科の授業づくり～子どもが考えたくなる指導と展開～	
	8021	【小・中学校道徳②】学校における道徳教育と道徳科の授業づくり	
	8022	【特別活動・学級経営・ホームルーム経営】児童生徒の自律的な行動や自治的な活動につながる学級・ホームルーム経営の必要性	
	8023	【全教科／マネジメント】令和7年度とっとり学力・学習状況調査を活用した学校マネジメント研修会	
	8024	【全教科／対話による深い学び】体感！アートとの出合い、アーティストとの出会いから広がる世界	
	8025	【先輩に学ぶ（リスキリング）】教師としての生き方に学ぶ	
	8026	【探究的な学び】探究的な学びの実現に向けた協働・共創プロジェクト①	
	8027	【探究的な学び】探究的な学びの実現に向けた協働・共創プロジェクト②	
	8028	【探究的な学び】探究的な学びの実現に向けた協働・共創プロジェクト③	
	8029	【探究的な学び】探究的な学びの実現に向けた協働・共創プロジェクト④	
	8030	【PBLによる探究的な学び】鳥取県版PBLによる探究的な学びの進め方（実践編）	
	8031	【Google Workspaceスキル（基礎編）】今からでも遅くない！「基本のき」から始めるGoogle Wokspace for Edcuation	
	8032	【Google Workspaceスキル（応用編）】Google Workspaceを結びつけた授業や校務の実践に向けて	
	8033	【Google Workspaceスキル（発展編）】Google Workspaceを活用した実践的授業づくり	
	8034	【学習者主体のこれからの学び①】学習者主体の学びをデザインする～情報活用能力ベーシックで実現する主体的な学び～	
	8035	【学習者主体のこれからの学び②】情報活用能力を育む授業づくり～学習者主体の学びに必要な教師の役割とは～	
	8036	【Google Workspaceを活用した校務改善】Google Workspaceで加速する校務の効率化～全国の先進事例から学ぶ、自校の校務改善戦略～	
	8037	【善きICTの使い手となる～デジタルシティズンシップ～】AI時代の児童生徒の善き使い手となるメディア教育を考える	
	8038	【生成AIとリテラシー】生成AIを適切に活用するには	
	8039	【特別支援教育①（自立活動）】個に応じた自立活動の指導の実際～多様なニーズのある子どもの理解と支援～	
	8040	【特別支援教育②（発達障がい）】もっと知りたい発達障がい～子どもの育ちを支える指導と支援～	

（６）能力開発研修

分類	研修番号	研　修　名	主 管
鳥取連携	8041	【特別支援教育③（学習障がい）】子どもの学習を支えるワーキングメモリ～一人ひとりの学習のニーズに応える指導・支援の工夫～	鳥取県教育センター・島根県教育センター
	8042	【特別支援学校教育】見方・考え方を働かせ、各教科の資質・能力の育成を目指した特別支援教育の授業づくり	
	8043	【教育相談】発達や愛着の問題を抱えた子どもたちへの理解と支援	
	8044	【生徒指導】子どもとともに歩む生徒指導～子どもも教師もイキイキと輝くために～	
	8045	【人間関係づくり】「かかわりの力」を育む～自尊感情・ソーシャルスキルをとおした人間関係づくり～	
	8046	【人権教育①】参加体験型による人権教育～欧州評議会の人権教育マニュアルにみる指導方法～	
	8047	【人権教育②】部落差別の解消をめざして～これからの同和問題学習のあり方～	
	8048	【人権教育③】人権が尊重される社会のために～ハンセン病問題から学ぶ～	
	8049	【人権教育④】ユニバーサルデザイン（UD）に関する授業・学校づくり～UD製品等の体験をとおしてつくる新たな学びと教育環境～	
	8050	【ふるさとキャリア教育】	
	8051	【図書館教育】読解力向上につながる図書館教育～ＡＩ時代を生きるための読解力を図書館で育む～	
	8052	【生命の安全教育】「生命（いのち）の安全教育」の必要性について	
	8053	【防災教育】「生きる力」を磨く！未来へつなげよう私たちの防災～防災安全についての体験的な学びをとおして～	
	8054	【博物館連携講座】教員のための博物館の日２０２５ in 鳥取県立博物館	
	8055	【国際教育】ESD、SDGｓの視点から「誰ひとり取り残さない社会」を考える	
	8056	【消費者教育】デジタル社会に対応した消費者教育	
	8057	【環境教育】謎を解き明かして気候変動について学ぼう（気候変動適応のミステリー）	
	8058	【あいサポート】多様なコミュニケーション方法の活用を通じた「きこえない・きこえにくいこと」への理解	

●･･･　松江市教育委員会も同名称で実施する研修。松江市立学校･園の教員等は対象外。